

不妊治療にかかった費用の一部を助成しています

助成の対象となる方

- ①婚姻後1年以上経過した夫婦
- ②夫婦ともに、1年以上国東市の住民基本台帳に記録されている方または、外国人登録原簿に登録されている方
- ③医療機関が不妊症と診断し不妊治療を受けている方
- ④市税を完納している方

補助対象となる不妊治療

医療保険適用外の不妊治療費(入院費、食事代など治療に直接関係ない費用を除く)
ただし、大分県の助成を受けた場合はその交付額を除いた不妊治療費です。

助成金の額

1組の夫婦に対して、1年度10万円を上限に助成します。(通算5年)

申請期間

不妊治療を受けた日の属する月の翌月の初日から1年以内です。
申請に際しての必要書類、申請に関する質問はお問い合わせください。



申請窓口・問い合わせ 国東保健センター ☎0978-73-2450

大分県不妊専門相談センター “hopeful” のご案内

大分県では不妊治療費の助成の他に不妊に関する専門相談をお受けしています。

- 電話相談・Eメール相談
(専任助産師による一般相談)
- 専門医師による面接相談
- 不妊サークル“おいで語ろう会”

など相談料無料です。
まずはお気軽にご相談ください。

相談・問い合わせ

大分県不妊専門相談センター “hopeful”

☎097-586-6368 (直通)

☎080-1542-3268 (携帯)

E-mail hopeful@med.oita-u.ac.jp

HP <http://www.med.oita-u.ac.jp/hopeful/>

由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地

あなたのこころの健康づくり

～こころの健康づくり研修会を開催しました～

市では今年度「自殺対策」を進めるために、保健推進委員や愛育班分班長、くにも農産加工(有)の従業員の皆さんなど様々な方を対象に「こころの健康づくり」研修会を開催してきました。

今回は、2月5日(日)、武蔵保健福祉センターで、東国東地域介護支援専門員の皆さんを対象に開いた研修会の様子を紹介します。

大分市のハート・ドア・クリニックの繁野正幸院長が「こころのサインに気づいたら～悩んでいる人にあなたができること～」というテーマで講演を行いました。続いて、参加者が3人1組で意見交換を行い、自殺を食い止めるためのアイデアや個人、地域で取り組むことなどを発表しました。

発表されたアイデアの一部

- 駆け込み寺・なんでもハウスの設置(避難してきた人に飲食提供して相談に乗り、最後までケアする)
- うつ病を題材にしたドラマを制作してケーブルテレビなどで放映
- ケーブルテレビで小動物や赤ちゃんなどの心癒される映像、笑える番組の放映
- シンボルマーク作成
- 地域見守り隊の発足 など

小さなことから大きなこと、すぐにできそうなことから10年後に効果が出そうなことまでいろいろな意見がたくさん出ました。参加者個人が明日から取り組むことを各自胸に刻んで研修会は終了しました。一人ひとりが自分のこととして考えていくことが大切だと再認識した研修会もありました。



繁野正幸院長の講演